

近現代史(26) アジア諸地域の動揺⑥「東アジア国際秩序の再編」

(1)清王朝の西洋列強・日本に対する外交政策

①総理衙門の設置

■東アジアの国際関係＝朝貢体制＝[1. 冊封体制]

↓
・中国が世界の中心であり、皇帝の「徳」が及ぶ範囲以外は蛮族の地。明確な国境はない。周辺地域は中国に朝貢し、皇帝は彼らを周辺の王として冊封する。

■西洋列強・日本 → [2. 主権国家体制] (領域・主権・国民)を取る

↓
■従来中国は、外国を対等の存在でなく国内の延長のようにみなしていたため、特別に外交を扱う場所は設けられていなかった・・・

■1861年、外務省にあたる[3. 総理各国事務衙門] (総理衙門)の設置。

②宗主権の喪失

■冊封体制は実質的な支配ではなく、名目的・間接的な支配

↓
■諸外国が清朝の冊封体制に挑戦していく。

・1879年 日本の[4. 琉球] 領有

・1884年 [5. 清仏戦争] → [6. ベトナム] がフランスの支配下にはいる。

(2)朝鮮近代史(19世紀後半)

①反乱と鎖国

■朝鮮、党争などによる政治的動揺 + [7. 洪景来の乱]

没落官人洪景来が不平官僚と結び窮民を指導して起こした大規模な農民反乱。

↓
■1860年代：開国の要求が高まるが、高宗の摂政の[8. 大院君] は開国を拒否し、攘夷

↓
■1873年：【親日派・開国派の[9. 閔氏一派] (高宗の皇后)】がクーデタ！ (成功)

※攘夷派の大院君から政権を奪う。

※閔氏一派は当初、親日・開国派。

閔妃…大院君を失脚させ政権を奪取。日本・清国・ロシアと相手を持ち換え朝鮮の存立をはかる。

②朝鮮半島をめぐる清と日本のヘゲモニー(覇権)争い

■1875 日本、[10. 江華島事件] を起こして、朝鮮を圧迫

↓
・日本の軍艦が朝鮮沿岸で挑発的な演習を行い、江華島付近で両国軍が激突！

■1876 [11. 日朝修好条規] …領事裁判権などを含む不平等条約で釜山など3港を開港。

↓
■1882 [12. 壬午軍乱] 1873年に政権を奪われていた【親清・攘夷派の大院君】がクーデタ！ (失敗)

・宗主国・清が朝鮮に対する干涉強化をねらって大院君を捕縛して閔妃政権を復活させる。

・閔氏一派、【親日派】から【親清派】に転向！

■1884 ベトナムをめぐる[13. 清仏戦争] 勃発 清朝勢力の劣性が露呈

↓
■1884 [14. 甲申政変] : 独立党(親日派)の[15. 金玉均] が日本の武力でクーデタ！ (失敗)

↓
・[16. 事大党] (親清派)の閔氏政権を打倒するが・・・清軍の進撃で3日で敗れる。

■1885 [17. 天津条約] …悪化した日清関係打開。両国軍撤兵、将来の出兵の際の事前通告等を決める。

(3)日清戦争

①戦争の背景と経緯

■1894 [18. 甲午農民戦争]…朝鮮南西部の全羅道で東学の信者が[19. 全琫準]の指導で起こした反乱。・東学とは？→1860年[20. 崔濟愚]が西学(キリスト教)に対抗して開いた新興宗教。朝鮮在来の民間信仰に儒・仏・道などを融合。身分差別に反対。

■朝鮮政府、清に鎮圧軍の派遣を要請。対抗して日本も出兵。日本は清朝に徹底鎮圧を提案するが拒否される。

■1894～1895 日清戦争

- ・豊島沖の海戦…94.7.27。日清戦争スタート！
- ・黄海海戦 …94年9月。清国海軍の主力北洋艦隊を壊滅させる。
- ・平壤の戦い…94年9月。清国陸軍を朝鮮から退却させる。

■1895 [21. 下関条約]

→日本全権[22. 伊藤博文] & 陸奥宗光、清の全権[23. 李鴻章]

○条約の内容

- ・[24. 朝鮮の独立]…朝鮮は東アジアの国際秩序「冊封体制」下にあったので、清王朝の属国であった。朝鮮の独立は冊封体制が崩壊し、東アジアが従来の国際秩序から脱し、西欧の国際秩序に組み込まれたことを意味する。
- ・領土の割譲…[25. 遼東半島]、[26. 台湾]、[27. 澎湖諸島]
- ・通商上の特権付与 →翌1896年の日清通商航海条約で清は関税自主権喪失・領事裁判権承認
- ・開港場での企業の設立 →[28. 内地企業権]の承認

○条約の影響

29.日本は大陸進出の足場を朝鮮半島に築き、極東で南下を目指すロシアとの対立を深めていく。

②日清戦争の歴史的意義

a. [30. 洋務運動の失敗]

- ・洋務運動が清朝の延命を図る表面的近代化であったことが実証され、これを機に清朝は明治維新を範とする立憲体制を目指す[31. 変法自強運動]に着手した。

b. [32. 中国分割の開始]

- ・下関条約での内地企業権の承認が最恵国待遇により諸外国にも適用され、帝国主義列強の資本投下を招いた。

国名	勢力範囲	利権・租借地
ロシア	東北地方(満州)	[33. <u>東清鉄道</u>]の敷設権・大連、旅順
ドイツ	山東地方	[34. <u>膠州湾</u>](青島市)
イギリス	長江流域	[35. <u>威海衛</u>]・[36. <u>九竜半島</u>]
日本	福建地方	台湾・澎湖諸島
フランス	広東・広西・雲南	[37. <u>広州湾</u>]
アメリカ	中国進出に出遅れる	[38. <u>門戸開放宣言</u>]を出して対抗

c. [39. 冊封体制の崩壊]

- ・清仏戦争でのベトナムに続き、下関条約で朝鮮の宗主権を放棄することで、東アジア伝統の冊封体制が事実上消滅した。